

## 宇仁小学校4年生との交流学習会に臨んで・・・

6月27日(月)4年生の3時限目、宇仁郷まちづくり協議会について、宇仁小学校の歴史について、八王子神社の歴史についてなどを地域の人達から聞く交流学習会がありました。

協議会から稲木善英会長、宇仁ふれあいバス部会岡本康雄部会長、宇仁郷歴史資料館山田弘館長・繁田昭彦さん、八王子神社の宮司山本勇二の5人が、児童達からの質問に答える形でお話しをしました。4年生の15人は3つのグループの5人ずつに分かれました。

1つ目のグループは宇仁小学校の歴史を山田さんと繁田さん、2つ目のグループは宇仁郷まちづくり協議会のことについて稲木さんと岡本さんが、最後の3つ目は八王子神社については山本が担当しました。

1つ目のグループの山田さんは、次のような話しをされました。宇仁小学校の前身は、約150年前、当時の政府によって明治5年に学校制度が成立し、明治25年頃にこの宇仁郷にあった寺子屋から油水尋常小学校が奥山寺境内に最初にでき、その後、学校の名前が「宇仁尋常小学校」と変更になり、明治28年頃に八王子神社参道前に学校が移転し、最初の校舎が建ちました。山田さんは、およそ80年前、宇仁国民学校と呼ばれた戦時中の昭和16年に入学し、戦後の昭和22年に卒業、国民学校と呼ばれた時と重なった時期が小学校生活だったとお話しをされました。繁田さんは、学習会の様子の写真を撮ったり、小学生の頃のお話しをされたとのことでした。

2つ目のグループの稲木会長と岡本部会長は、協議会の設立や宇仁地区のことについて、また、現在活発に活動している「宇仁ふれあいバス」について丁寧に答えられました。

3つ目のグループは、神社のことについて質問に答える形で行いましたが、関心のあることは目を輝かせて聞いてくれました。なぜ、神社が学校近くにあるのか、なぜ、鏡山(かがみやま)とよばれたか、由緒は、なぜ山の上に神社があるのかなど、質問がいろいろなことに及ぶので、児童に分かるように答えるのに少し苦労しましたが、何とか理解してもらえたかな～と思います。そのあと、古墳の出土品を見たいと言うことでしたので、神社で保存している須恵器(土器)や刀剣を見てもらい、出土品のことについても説明しました。

子どもたちが宇仁のことを理解する良き学習会となったと思いますし、地域の身近なことに興味を持ってくれていると強く感じました。これからも、もっともっと関心をもって、将来は宇仁郷のために活躍してくれることを期待したいと思います。(八王子神社 宮司 山本勇二)



## 宇仁ふれあいバス国正線利用と路線沿いのご案内

愛称“うにバス”の運行を開始してこの6月末で延べ1,676人のご利用をいただきました。これからも地域住民の方々の足としてお役に立つよう頑張ります。

今回は国正線のAコープ滝野店から北条方面中富口停留所までの路線沿いについてご案内します。Aコープの近くでは内科医院、眼科医院、クリーニング店、コンビニ、ラーメン店などがあり、到着からバスが出発するまで約1時間ありますので、買い物の他色々と用足しができます。また昨年8月から滝野図書館に停留所を設置しましたので、子ども達にも安心して利用してもらえます。滝野温泉ぼかぼ前では1時間程度の時間がありますのでゆっくり温まってもらうことができます。

宇仁小学校前停留所近くには八王子会館、宇仁ふれあい館があり、毎月発行の宇仁郷活動予定表でお知らせしている色々な行事を行っています。宇仁小学校体育館の北側には宇仁郷歴史資料館(毎週日曜日9:30～12:00開館)、その北隣にはカフェ「URUMI」(営業日:日～水曜日10～16時)、「狛犬ジェラート」(営業日:土～火曜日と祝日の11～16時)がありますので、資料館や八王子神社へお越しの際はお立ち寄りください。

油谷北停留所の目の前には尾形歯科医院(診療:9～11時、15～18時30分)があります。前田神経内科クリニックは朝の便で出かけて診療を受けた後、ねっぴー号で野上停留所から昼前に帰る方法もあります。プチマルシェでは午前中の便を利用すると20～30分の買い物時間がとれますので、予め買い物目的を決めて利用されると便利かも!! 中富口から北条市街地へ行く場合はねっぴー号に無料で乗れる乗継無料乗車券を運転手に申し出てください。加西病院、市役所玄関、イオンモールなど目的地に近い停留所を気軽にご利用いただけます。運行時刻表を車内にも準備していますので、今後大いにご利用いただきますようお願いいたします。(宇仁ふれあいバス部会)

## 子育て支援センターからの報告

7月2日(土)小学校参観日後の預かり保育(27人)を八王子会館で6人で行いました。この度は、宇仁郷歴史資料館の山田館長に「宇仁郷の歴史」について分かりやすく教えていただきました。残りの時間は、高学年と低学年に分かれ、各自学校の宿題に取り組みました。

また、8月20日(土)8時から旧宇仁幼稚園(学童保育場所)の清掃活動を行いますので、多くの皆様のご参加ご協力をよろしくお願い致します。  
(子育て支援センター)

## 宇仁小学校の思い出 ⑩～地域とともにある学校～

私が宇仁小学校の教頭としてお世話になったのは、平成27年度から29年度末までの3年間でした。また、それ以前に3年間教諭としても勤務しましたので、合わせて6年間勤めさせていただきました。

「学校は地域とともにある。」という言葉を目にしたことはありましたが、このことを強く感じたのが、宇仁小学校での6年間です。特に教頭としての3年間は、地域や保護者の方々にたいへんお世話になり、多方面から学校を支えていただいたと感じています。

「ワッショイスクール」の方々は、校地を見回することで学校の危険を未然に防いでくださいました。「見守り隊」の方々は、子どもたちの登下校の安全を見守ってくださいました。そして、子どもたちに危険が迫った際に駆け込むことができる「こども110番の家」の登録にも多数のご家庭に協力いただきました。また、「さつまいも祭り」や「安全フェスティバル」等の学校行事には、体育館に入れないう程の多数の方々にお越しいただきました。

さらに、宇仁郷まちづくり協議会が中心となって行われていた「ホタル観賞会」「夏休み前のイベント」「コスモスマつり」「とんど」「新春の集い」等の地域活動と学校教育が両輪となって子どもたちの健全育成を推し進めていたと感じます。

過日、宇仁小学校へ立ち寄る機会がありました。以前は葉数が少なく弱っていた校庭のハナミズキが、緑の葉をたくさんつけて元気な姿で迎えてくれました。「めざせ！ あいさつ なかよし 日本一の学校」の看板の前や歩道橋の下を通る度に宇仁小学校での6年間が懐かしく思い出されます。たくさんの方々にお世話になったことばかりが思い出されます。本当にありがとうございました。

今後も宇仁郷と宇仁小がさらに発展し、そこで学ぶ子どもたちが、かしこく、やさしく、たくましく成長することを願っています。  
(H27.4.1～H30.3.31教頭 在田哲彦)



## 宇仁郷のあゆみ 第二章 宇仁郷まちづくり協議会の群像達⑤

### 新校舎建設遅延の対応に苦慮(4)

平成15年3月9日開催の宇仁小学校新築期成同盟報告会の議事録より関係者の学校建設に対する熱い思いを紹介しています。

#### ・意見集約

小学校は心のふるさとである。学校を我々の精神的バックボーンと位置づけ、文部科学省の少人数学級への流れは学校存続に優位な理由である。45年経過した老朽校舎の災害発生の危険性を訴え、移転後八王子神社の表参道の返還と復元に取り組むためにも、市財政の問題を乗り越えた活動を強化していかなければならない。

- ① 多加野地区区長会においても5人の議員を交え建設促進を確認していく。
- ② 学校建設は議員最大の公約とし、今日の会合の熱意を市当局にぶつけ道筋を明確にしてもらう。
- ③ 議員に期成同盟が帯同し、市長面会等を通じ建設促進を訴える。
- ④ 市当局と期成同盟、各種団体で学校建設についてのシンポジウムを開催する。
- ⑤ 新入生の減少化が宇仁校区内より統合化の声となり、スクールバスで解決できるのではないかと不安な発想にならないように、生徒の父兄にも頑張ってもらおう。
- ⑥ 本日の報告会出席者は地元二期成同盟の意を十分に伝えて、宇仁小の建設促進の気運を高めていただく。
- ⑦ 北条市街には建物が多く作られている。周辺の地域は北条の3倍の声を上げなければ実現しない。

#### ・閉会の言葉・志方正勝 期成同盟副会長

「大正時代、宇仁小学校の存続問題で流血騒ぎをおこしてでも学校を残された先輩がおられます。地元が一致団結しなければ事ははかどりません。地元議員も力になっていただきたい。田谷の区長さんには地権者への説得と理解に努力していただき用地が確保できたことに感謝します。教育は100年の計です、頑張りましょう。」



取り壊し前の旧校舎内